

# 以下日記頁のみ撮影 (1月1日～12月31日)



高直	晴	候	記
朝九時禰ノ禰着長田照天新築別荘 入八			

高直

知登や臣は改題の面にもり

高直	晴	候	記
午後六時申下有云元禰ノノノリ壽美全道			

高直

知登や臣は改題の面にもり



晴		晴	
<p>朝大時(多)掃京 十一時(多)掃京 夏田直松公未訪 柳瀬(柳)子ヤ晴島村彦也(女)成(儀)件 中座(座)若村(若)真(人)幸(浮)多(必)ス 池田(池)三(中)三(三)北(海)栄(釘)銭(子)二(用)元(報)告(了) 藤(敏)大</p>			

晴		晴	
<p>今朝三橋信三(公)未訪 午後田村(先)更(成)五(店)若(村)未(也) 菅振(若)花(宿)内 夕七時(多)掃京(掃)京</p>			

午後二時吉川合会  
江村法事等々  
清原工務所開の末

午後一時半法事等々  
吉川水カ、山陽水カ、吉川  
三ヶ分者末等皆三ヶ分吉川水カ、山陽水カ、吉川  
第一件、付未決り  
午後一時半法事等々  
吉川水カ、山陽水カ、吉川  
三ヶ分者末等皆三ヶ分吉川水カ、山陽水カ、吉川  
第一件、付未決り  
午後一時半法事等々  
吉川水カ、山陽水カ、吉川  
三ヶ分者末等皆三ヶ分吉川水カ、山陽水カ、吉川  
第一件、付未決り

日記

主人の安否は如何に

晴  
午後四時二十分迄

午後四時二十分迄  
晴

日記

主人の安否は如何に

時		時	
時		時	
十時 羊ヶ社		十時 羊ヶ社	
子石在ミリセントトブワ、電気が元ヤシ、特		子石在ミリセントトブワ、電気が元ヤシ、特	
許ア美仏白クニ三國ヨリ得タル者 報答アリ		許ア美仏白クニ三國ヨリ得タル者 報答アリ	
十一時 理奉合宿 宿		十一時 理奉合宿 宿	
午後一時 大海炭針 伴介 池田女川見		午後一時 大海炭針 伴介 池田女川見	

時

同命の理間より京の盛衰・火倉同命

時		時	
時		時	
朝十時 星一 戌未訪		朝十時 星一 戌未訪	
十一時 羊ヶ社 社茂女物		十一時 羊ヶ社 社茂女物	
十二時 康庭奉者知ニテ芳何男、同島、		十二時 康庭奉者知ニテ芳何男、同島、	
仔用、幸田等ト新年始メテ合食男ハ昨夕		仔用、幸田等ト新年始メテ合食男ハ昨夕	
竹葉寺ヨリ掃京		竹葉寺ヨリ掃京	
寺前 塚城也二時 戌未訪		寺前 塚城也二時 戌未訪	
精率 銭山並三浦製成冬更及堀ノ件矣林		精率 銭山並三浦製成冬更及堀ノ件矣林	
卷一頁 (四五) 内右根製成冬更及堀ノ件矣林		卷一頁 (四五) 内右根製成冬更及堀ノ件矣林	
長友 伴介 西島トシ 活字アリタル者ハ 坂松田ヨリ		長友 伴介 西島トシ 活字アリタル者ハ 坂松田ヨリ	
菅敷アリ		菅敷アリ	

時

同命の理間より京の盛衰・火倉同命



晴	晴	晴	晴
晴	晴	晴	晴

去祥手、去り

(九正大) 藪島野犬に時河赤公を約以和牛 (七しハ一) 子見良をアリスオ草遊小人像 15

晴	晴	晴	晴
晴	晴	晴	晴

十一月廿五日  
 招田真后部成引見  
 春不葉造部成三リ合人カ出田栄并成(運身共  
 三并一二月日見吉酒水産ノ件ノ件  
 改改上ル橋本重上部成未談  
 濱田諸部成(七ノ件) 国事合(改改) 片  
 電ヲ送シ(香料) 十内ノ様

(元武世) 子行儀を宿帳ニ録 (四福天) 子行移を國に角神の殿裏録 14

信	交	信	交
<p>午後一時半 重役会 午後二時 重役会 午後三時 重役会 午後四時 重役会 午後五時 重役会</p>			
<p>今日五時半 介部 午後九時 日 以末 大屋 殿 リ 岩原 池 八 相 少 堀 山 所 云 下 云 下 浅 津 須 十一時 午後 重役会 午後一時 重役会 重役会 三時 午後 重役会 知リ 所</p>			

信	交	信	交
<p>午後一時半 重役会 午後二時 重役会 午後三時 重役会 午後四時 重役会 午後五時 重役会</p>			
<p>今日五時半 介部 午後九時 日 以末 大屋 殿 リ 岩原 池 八 相 少 堀 山 所 云 下 云 下 浅 津 須 十一時 午後 重役会 午後一時 重役会 重役会 三時 午後 重役会 知リ 所</p>			



日	時	内容
	十一時	十一時分社 ハバール流を輸入し、件アリスリ 住友と交渉シタルガ、廿四日、本居又及店、 会合致さる。未だアリ依之、本村氏、席に列 席セルト、ト、本居ヲ本居未深、回ス

(一三新明) 廣政府録元 (七〇八一) の生軍將一り將の軍南國本 (三一保野) 十段は復生鉄 21

日	時	内容
		立前工所工業集保会 新勢登会 十一時、工部復玉部、新勢登会、去路、川、依 キ、催サレ、公復玉部、理事、本会、列席、斗、時 本社 久、區、大、小、口、度、事、状、列、席、久、社、夜、斗、時 半、社、打、下 四、時、半、退、出、首、相、官、部、昨、日、松、澤、夜、抄 シ、タ、ル

20 (元延廣) 十は道に羅米を節使てめ始府移 (九八六一) の生一エキスデ、モ (三番明) 火六の廣明

晴	晴	晴	晴
---	---	---	---

神保小虎氏景前守  
 十一時半出社

十一時半出社  
 午後一時神保小虎氏景前守  
 午後二時橋本堂五郎氏ヨリ横濱生島ヨリ  
 午後三時明日午後三時村井新井両氏ト合見ヲ  
 ナス  
 柏奈文太郎氏任分ヨリ高料大生牛南口孝世郎  
 来訪川見ス外祓ノカメナリ

晴	晴	晴	晴
---	---	---	---

晴

壽美裕京士府

山 仁 如 聖 院 聖 如 冬 日 聖 生 所 隔



晴天

後

午後五時半集金  
寺山松若石請

午後一河針業重  
従公

午前七時集會

十時也勤銀行童校会列席

山内豊政男片岡隆太郎氏(寺大前村)林檎1斗片

未訪(僧)歴方7壇台、辰ノ

高瀬祐吉公叙坂岩城ノ件、片未訪其概云ヲ

三子氏ノ移入

午後一時三友針業重役会吉岡水カ春念ノ件、  
北海産源貸金ノ件、唐津針業女作反針心  
火火ノ件執考下リ

山田俊亮氏材木ノ件、片未訪 重諾久系 杉ノ社  
檢杉 崎ノ坪ノ件、櫻田町表隊隊外  
午後五時半羊紅若石叙ノ件、片未訪 副社長氏呈  
川子賢大倉堂外任殿下寄ノ席ノ列ス

田  
宮  
宮

田  
宮  
宮

晴天

後

午後五時半集會  
未訪ノ件片未訪  
片未訪

朝清水ノ子(八来)和田洋四郎氏并之ノ内村

不街門左銘心秋山キ枝(五折月)片方里錦玉止

二折枝(七折月)ヲ購フ

十一時四十分之社

片未訪 小松傳(市公日本橋區西河岸町

十四番地)新理事宮知(三階信)片未訪 杉ノ

片未訪

晴天

後

午後五時半集會  
未訪ノ件片未訪  
片未訪

格	契	格	契	新編 目録
				新編 目録
<p>東宮殿下ツ全葉活津口用印ハカレ 西下ニハ好顔 昨夜十時頃ヨリ雪今朝積リナリ</p>				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録

格	契	格	契	新編 目録
				新編 目録
<p>東宮殿下ツ全葉活津口用印ハカレ</p>				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録
				新編 目録



晴

後記

工業倶楽部  
元々同協会  
午後四時

十二時分社

青林社より文部省司書  
川井隆文等皆ト重役取断ラ決定ス  
社長ト東洋硝子重役改滿期ノ分再選ノ限  
定ラズ

筆名やささやきつとも臨に来る呼酒

晴

後記

午後四時  
新成  
二所電機宣言会

十一時分社

山此丘丘長東山若市新生元殖分全校理子  
小室原美之今世市同校物々来ル  
子所一所内所全役会  
二所電機宣言会  
電機宣言会社取系ノ件ノ件社長より所全者り全付  
三所川女ヨリ校校長生系ノ件ノ件社長未訪ニ付  
リ存不ノ問題片止若火ヨ交機シ法向者方主  
トトノ文トヲ豫ルノ外ナシト云フノ事ヲ指者ス

足長の人来て葉き相備かな杜松子

信	實	信	實

現由國多歡也  
會  
予は好話  
一軒あり予を喜ばせ

十一軒半出社			
三井ノ神所 三ノ所大田栄田ノ子ノ所			
ヲ訪フ大田栄田ヨリノ控談ハ屋台ト談合上ノ所			
町長トシトス			
吉田銀太郎氏ノ息清太郎(常大住清太郎ノ子トシトス)			

32 (五三同) 印真の談由英日 (二一拾明) 別意海を橋架結巻 (九四六一) らせ執断世一ズルーヤチ

信	實	信	實

御減(助)も  
前田(方)も  
紅毛(船)も  
予は所(造)也  
予は所(造)也  
予は所(造)也

胡十軒三井直樹大偏来訪			
公久米仙本宅合會其相支加フ			
十一軒三十軒出社金津俵合ノ列ス			
午後一軒送仍堂役合			
一軒半長谷川天師合會亦ある青山寺瑞ノ寺			
大村ノ夫屋家辛代ノ金屋ト百田ヲ及ス			
肌部一三ノ未所自分不在中ナリ以テ金ヨス			
予一レヨシホテハ一宿向ス其種談出席ノため不在			
四時帰宅			
五時半ニ出立然レテハ御減(助)ノ船買ノ船買			
ノ列ス大前田相出席應アリ九時半帰			
夜後院騒擾ヨリ解散			

33 (八二同) 予能臣師島明 (〇一拾明) り起園の西南 (二六八一) ナ見後を星階の星銀天



日	時	分	秒	緯度	経度	備考
						爪哇 千夜斗時半所小松旅彼より和国本港迄 奇キ病多ク具其ノ様余ニ歸ル於ケル大坂毎日 カメ主儀美術展發合リ觀テ帰ル

(二一正大) 去龍背大軍陸木黒 (四拾明) く設免信電底海に開支日 (三永天) 火頭山島部 37

日	時	分	秒	緯度	経度	備考
						爪哇 那ノ言葉今朝而降リ候キ千夜斗三夜も不止 十一廿半六社 叙 吉田松夫氏ノ息精太郎氏ノ學徒高見リ 未シ 菅原松夫氏ノ存否何所候貴方三回分六百七 拾七回余ヲ又松フ

(二一正大) ち家氏エフフヨ音表代東福園農務 (八拾明) 立併校張範師子女京東 36

上巻の目に偶然なるものなし  
天に成も天に成(一) 雲霞も一時

晴	晴	晴	晴
---	---	---	---

昨夜部介今日、旧暦ノ元旦ナリ  
 十一時半出社  
 年集郵收帳長控本ノ東洋汽船買収収支集  
 算見テ社長、御株々  
 一 一列ノ勘定ヲ紐繰タル紙ハセリ、  
 一 勘定簿期ノ期限表々ト失セリ、  
 一 送料其他取費ノ増カテ手帳ハセリ、  
 一 因幡ノ下止所(旧本)ヲ考慮セリ、  
 一 五油タロリノ設備ヲ要ヤセルカ  
 午後六時車手場知、若竹男ヲ訪ニ後々知  
 会社買収ノ件ハモリニナリ

晴	晴	晴	晴
---	---	---	---

朝九時大村新太郎氏賀元馬(はたけ)氏元  
 本合人トシテ大村(佐藤)氏(保伯)ノ孫元貞(三  
 四年生)帝大理科任所ヲ卒業生所職依  
 頼ノ件ハ未決、履歷書ヲカ友云男氏、依  
 一 木村清四郎氏紹介、慶大商工科卒業生也  
 一 須田雄幸氏紹介、早大商科小倉徳光  
 一 西人紹介、手帳及算本ハ余社屋長ノ吉面三  
 一 通世人事事長、及ス  
 一 被収年集ノ件、三治川氏ヨリ白倉公席ト社長  
 一 報喜ス  
 一 祥ノ集(後)大蔵部ノ件、永全、三治五郎ス

日	時	分	秒	辰未	未辰
十一時二十分去社 北澤木土成炭田村の製粉更改ノ件并件 友ノ屋主君ノ冬ノ南大村ノコンノ障子改修ノ 去辰向ノレサシム					

日	時	分	秒	辰未	未辰
十一時二十分去社 北三井ノ西ノ倉田主人泰母ノ件ノ件并件 友ノ屋主君ノ冬ノ南大村ノコンノ障子改修ノ 去辰向ノレサシム					

信	録	信	録
---	---	---	---

昨夜半三ノ南ノ海風吹キ荒々気候也此ノ月ノ  
 遥暖ニテ春ノ暖官城ヲトケ入メタリ  
 朝九ノ星一ノ本坊(春ノ北ノ)  
 十一所羊小社  
 奥村ト大同炭田鐵道敷設ノ際明日南  
 薩ノ大原公司ノ合合六次ノ在来ノ権利ヲ推定ス  
 此方此ノ所リ三井ノ持議其同販賣会社設立  
 (百文)奉末ヲ此ノ夏十キ晴矣ヤヲ種メタルト  
 老成不事ト打合ス  
 松坂五二ノ天只分古川ハノ産賣会社  
 販賣方様用信然ノカ来坊

信 録

信	録	信	録
---	---	---	---

十一時二十分出社  
 社長ト対談  
 午後六時二十分河村鏡次又若灰去告別式  
 青山山下目梅莊院ト奇キ夫ヨリ吉祥寺ト合フ  
 宗田方太初代ハ未ニス率ノ夫人ノト妻ト共ト  
 少少年奈津定地ヲ踏査シテ六時羊塚屯  
 夜分雨降ル





結	突	結	預

十一時半迄社  
 高木平葉生保口本部任用ノ授抄来ル  
 夜岸清(女)国際競技会財団修(組織)  
 件ノ件来万  
 齊後朝野提督ノ訴命ヲ国民会(中野)  
 知命男一刺之件(岩崎男)發隊ヲ承命ル為  
 申錫麟(夜岸次郎)及供養者父中野健  
 公来訪自命ハ直ニ養成各名ニ社名ニ社名  
 共報テ(中野)又社名ニ亦直ニ養成之ラ青木  
 代ノ壁ノ三氏ノ産知ヤシム

結	突	結	預

高田金吉(長)其方  
 比若人(短)五短也  
 清  
 十一時半迄社  
 奥村政雄(金)津野陸軍次長ノ面合(橋本)  
 學ノ要稿(土)素ノ補便ノ項ヲ撰書(後)入ヨ以テ  
 是レ(中野)万ノ意見ノ全(中野)意(中野)下(中野)  
 高田(中野)合(中野)共(中野)高(中野)田(中野)金(中野)吉(中野)氏(中野)ノ(中野)台(中野)名(中野)會(中野)ノ(中野)於(中野)上(中野)  
 二(中野)及(中野)幹(中野)部(中野)ノ(中野)行(中野)ノ(中野)真(中野)ニ(中野)於(中野)九(中野)時(中野)橋(中野)本(中野)

日一十月二

時	分	日	月	年

十一時半 六社  
 七位社長三ツ里 英園社 木村合社 呈也 吉野 7  
 美取川 松岡 相手 三ツ里 取洞 吉野 美見 取  
 取  
 四時 三時

個人は請を請めて居るばかり

時	分	日	月	年

十一時 二十分 七社 理事合席  
 全合会 三ツ里 英園 八合 美取 吉野 平 錫 齋  
 須成 茂 及 中 打 俵 次 神 三 氏 族 妙 之 集  
 木村 三ツ里 木村 茂 行 渡 文 相 談 三ツ里 氏 集  
 三ツ里 氏 集  
 南大平 葉 木 村 井 眞 澄 三ツ里 小川 平 大 氏 行  
 未行  
 美取 三ツ里 三ツ里 有村 秋 集 所  
 三ツ里

晴	晴	晴
---	---	---

午後赤坂リッレ吉祥寺まで十七時帰宅

子規

晴	晴	晴
---	---	---

午後一時美呗会

午前十一時羊古河合名会社より足音社社長虎  
二助氏へ面会足尾銅山火災ノ具舞子達へ会社  
午後八時(宝皇)例市ノ并儀ノ未列スノハ得(ナリ)  
ニモ時刻誤解ノ为人早サス

限大  
設 氏

日 九 十 月 二

日 五 十 年 十 甲

目録	帳簿	帳簿	帳簿
十一時四十分也社 右川辰之助分枝抄、素 山中深三今大買次分(新入店)ノ大西 貞雅明大卒業新職、件ハ件依次ハ未訪 已、怪觸肩屋分後、件補欠ヲ待ツ外、 キ名ヲ申シ、カセ、履履方ヲ提出シ、成ス 不焼木材合社、カハル者履方、松岡均平、成シ 成ス(件、カセ、履履方ヲ提出シ、成ス) 金子安代大枝、残野、カセト付、地知文、樹、件 付、再、来、訪、谷、不、会、庫、常、務、方、月、会、セ、七、地 整理、し、結、算、し、時、ヲ、マ、シ、栗、相、談、ス、ト、ス			

(八保天) 予越な龜卯八平當大 (元永寛) 十原部十圖川由代加 (三私元) 城 藩 野 吉

西の文書

目録帳簿  
帳簿  
帳簿

月 五 十 年 十 甲

日 八 十 月 二

日 月 丁

目録	帳簿	帳簿	帳簿
十一時四十分也社 右川辰之助分枝抄、素 山中深三今大買次分(新入店)ノ大西 貞雅明大卒業新職、件ハ件依次ハ未訪 已、怪觸肩屋分後、件補欠ヲ待ツ外、 キ名ヲ申シ、カセ、履履方ヲ提出シ、成ス 不焼木材合社、カハル者履方、松岡均平、成シ 成ス(件、カセ、履履方ヲ提出シ、成ス) 金子安代大枝、残野、カセト付、地知文、樹、件 付、再、来、訪、谷、不、会、庫、常、務、方、月、会、セ、七、地 整理、し、結、算、し、時、ヲ、マ、シ、栗、相、談、ス、ト、ス			

(五治明) 置設備二の軍海陸 (六四五一) 下ルルテール (元治久) 取の島尾

西の文書

目録帳簿  
帳簿  
帳簿



量

種名	
量	
備考	

備考

田圃に埋りに来る小鳥かな 秋草

朝土中社  
 直木復興改枝屋及全改革、錢道善に  
 十河信二氏、大井省川、松野備支、片、片、未  
 法アリ、之、ト、ラ、主、灰、分、移、し、運、基、一、取、用、せ、し、ん  
 ト、ス  
 藤田政輔、今、人、ノ、社、入、社、タ、ル、井、上、親、植、ヲ、常、同  
 と、未、し  
 岡田、松、隈、ノ、両、氏、ミ、リ、北、海、茨、城、ノ、模、様、ヲ、驍  
 取、入  
 田、野、匠、士、小、松、旅、叙、と、い、ふ、也、し

晴

備考

種名	
量	
備考	

朝十一時羊也社  
 田中隆三氏、運、勤、勞、ノ、事、ヲ、件、付、長、ノ、テ、解、キ、リ、  
 分、夜、茶、平、ミ、リ、印、分、支、新、ト、日、本、ト、ノ、相、合、ノ、件、ハ、件  
 了、解、ヲ、承、ル、知、ア、リ、  
 奥、村、氏、ヨ、リ、故、後、病、院、用、鎖、付、杏、實、赤、小、豆、欠  
 他、人、名、簿、呈、ノ、件、お、せ、ア、リ、  
 田、野、匠、士

歌かき草のうねりや風光る 湖水

種	候	日	時	晴
				晴
十一時二十分 牙城西京民手女校 榎幸舟山長伴友 来防 三井針葉青房ヨリハ海 文修(舟娘)来防ノ中 出ヨリ美知ノ島 五ツ分ス				

種	候	日	時	晴
				晴
十一時二十分 牙城西京民手女校 榎幸舟山長伴友 来防 三井針葉青房ヨリハ海 文修(舟娘)来防ノ中 出ヨリ美知ノ島 五ツ分ス				

晴	午後五時半	午後七時半	午後九時半
---	-------	-------	-------

午後十時半  
午後一時  
午後五時半  
午後七時半  
午後九時半

晴	午後五時半	午後七時半	午後九時半
---	-------	-------	-------

午後十時半  
午後一時  
午後五時半  
午後七時半  
午後九時半



結	契	結	契

晴  
松濱会初月  
午後四時半訪  
伊木園直夫  
針葉重成会  
于石府

十一時半ヤヤ社 常盤ハラクニテキ叙會  
社長ヨリ針葉重成会社取具信件、付送アリ先  
ツ貴族自費ヲ次次ハ前トスルリ意見ヲ  
付送ス  
午後一時針葉重成会社重成会、出席  
午後三時 東上海上信成会社重成会、出席  
火保前夜、夜通ヲ各坊子習リ徳ヲ取ス  
今五時半夜月、初ムル松濱会、出席ス伊  
木、園直夫主人タリ未全三十名名録会  
ナ、火保天余ノ内你ヲ互リ九時半終電

人の性は悪其善なる者は悪り也

結	契	結	契

十二時ヤヤ社  
窪川糸市印市之免借跡方付青木赤星西  
成ト打合ス  
高田金吉石川煥(バーカー)三式様妙ノ来  
訪  
東京ウラナ 菅天度旧費式百回券爲  
山本正範成来訪 本代後アハ

今人の養生ハ利を起す者ナリ是に盡ス取也

Table with columns for days and dates: 日 曜 欄

相を時正上
は長昨日中世松乃公病支久休より昨日
(美筆)日本神田主権未訪
花尾香松、亦天竹博貴、甲中分六
百五本同、又拓



啓 日六日 前五分二分
社 日二十日
分 廿一日 前六時二分
月租
○新月 廿一日 上弦 十四日
○滿月 廿二日 下弦 廿八日

○三月の夕望に
○三月の夕望に
○三月の夕望に
○三月の夕望に

○遊む水
桃の影にありて夢漸くあたまかたり、何處ともなく刻速のうなり徹
かにして、庭に春のうるほひ充てるを感ず。野にはうすすと草の香ありて、ゆるび
なる水のささ流れに添ひて揺るゝは岸、青きひとむねり。輪の具を零したらむやう
なる夢のあざやかさ、日に日に伸びのしるく、早くも立ちのぼる鶯雀の、聲は整はざ
れど、うれしく夜に仰がる。

五海行記に記すも、單に「」も、地志なり。

晴	午後六時寺設 合叙	明日伊弉諾大神 全共後り下座 三田子及外村 飯	大正他天部 映泰有内 王木守久小部	市下直設明 以
---	--------------	----------------------------------	-------------------------	------------

初八廿午方田澤方式子名二人ヲ伴ヒ来  
訪  
十一時羊也社  
午後一時吉田 飯太市会来社飯田三君ノ而  
以合ス  
貝島合名会社ノ茶会知信部会中央火  
災ノ大祝人 神音子別成リ川連シ来訪木村  
林次郎ヤ 尔介又  
三三川合三ノ扶波主ト対スル 対策ヲ議リ  
午後五時は合叙ニ于テ廣成道別合主賓病氣  
ノ為欠席 合叙会上凡

晴				
---	--	--	--	--

昨日凡俗シ午後壽美ト吉祥寺ノ於テ六時  
半祥也

六段和テ予して榮録のり開案持進して忠臣  
老子

格	類	格	類

晴

十一時羊中社  
 午後一時道根宣使会と修席  
 和田善三松成大卒病院 塚田外科 子新所 待  
 呆谷作亮(馬) 名子子子 社長ト共ニ 貝井ニ力  
 存金第何ニ之入り 敗果食也走し程し 知  
 田女斯去ノ報ノ接ス 在何男ニ在令会ノ  
 節ノ外ノ

下本に赤き日ありし本車等の川原に、之等  
 夜月、其の門をたつたる別は、其の  
 品子

格	類	格	類

午後六時帝國  
 大三人 野中清  
 諸

主時和田女卸と共ニ 賣藏、決別ノ上出社  
 午後二時大松松下部女 未訪日 子新所 善会  
 復旧費事内ノ 依頼アリ 五百圓午後トス  
 二十川ハ、三場五合高喜久 卸女未訪  
 午後六時帝國ホテル、於て 鮮銀振込舞中  
 清女校生、喜、悦々 其後不令 馬 改機等、諸  
 夫ノ外各合并、着臨也 二十名九時帰宅

行く水に赤き日ありし本車等の川原に、之等  
 白馬

領	交	出	入

陸取  
 土時社 校役生員会社 八ヶ岳 東南  
 半呈者 志見 理事 会 三ヶ岳  
 事合 長 志見 開陳 之 資 向 應 答  
 アリ 矣 十 一 日 午 前 談 幸 三 ヶ 岳 不 了 ス  
 高 峯 合 及 知 副 会 頭 校 長 三 ヶ 岳 夫 人  
 告 別 式 十 上 野 六 復 永 幸 三 ヶ 岳 三 時 半 掃 屯

(八三拾明) 京都大天孫 (四〇八一) 立立を世會書聖蹟外内て於に國英 (三一長察) を生以縣江中 71

領	交	出	入

十一時 羊六社  
 主 任 女 采 房 會 工 業 俱 本 部 推 進 會 が  
 入 方 依 頼 アリ  
 子 娘 三 月 代 一 成 全 往 念 女 採 用 依 頼 為 来 社

(二元延) 聖歌御義田新築 鶴全 (二徳露) 湯に島大を朝白露 70

信	交	信	類

日記

十二時 藤野 松丸 柳 小 坊 寺 美 全  
 伴 全 人 子 母 子 祥 幸 子 干 別 在 建 美 全  
 小 需 如 子 夏 分 六 時 羊 存 在 取 取 食 子 其  
 三 人 小 松 下 公 子 在 其 子

廿四の多福に二人の狂者かな

信	交	信	類

日記

十一時 羊 小 社  
 十二時 和田 豊 治 氏 各 別 文 子 接 待 後 一  
 人 子 子 候 坊 四 時 羊 存 在  
 韓 相 部 今 未 坊

春風に種物類全はたなけり

晴

記

杏野米屋

梨子

中央

研永由生米箱根三り来ん五百円ヨ戻ス  
 二十後三時津井、初ケル彦船知研友所、計手  
 コル、式、真、電、以、核、其、他、ノ、一、美、駭、シ、又、ル  
 午後五時半中央亭、初ケル施摩知、初、録、ノ  
 梨子、合、臨、杏、雲、堂、改、長、初、多、不、隆、興、出、及  
 竹、染、病、研、究、久、長、久、川、武、其、他、職、員、送、業  
 対、シ、一、場、ノ、夜、抄、ヲ、示、フ

此書は実証よりも一感引方を有す。

晴

記

十一時七時後、料理奉合ハ三宅川南幸  
 会長ノ、基、礎、ヲ、示、シ、流、合  
 午後社以、至、テ、針、葉、合、社、責、任、自、己、名  
 并、ニ、三、宅、合、長、ノ、件、ヲ、派、漢、ス  
 午後四時半、演、説

大川を子、大、取、り、上、り、小、取、り

日記  
水原

午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書

午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書

この頃より田中隆三氏に目玉のたる小さきあけの  
影のあはれはの  
こころをたてあはれしとてそのまにそく

70 (一正六) 聖朝史女蓬白の題詞 (九正六) 劇筆澤尼 (九拾明) すと日曜日め改を喝休の日六一

日記

日記  
水原

午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書

午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書  
午後一時 田中隆三氏 未訪 今午 贈書

77 (六拾明) 許を姫崎のと人外 (一八七) 見登皇王天ルエシーハ (六正天) 卒僧謙杉上





甲子年二月

三月十七日

三月十七日

種	質	種	質

晴  
風

十一時羊ヶ社  
 かゝ茶亭長ヨリ 深川政存妻却地ノ因有テ  
 変取  
 其ノ曾ノ宗在事跡知テ訪ニ開聖筆月  
 下白額ノ因ヲ贈呈ス  
 米井ノ松村昇也来訪

(六回) 予許をる入に披讀が錢の外 (三拾朝) 予明發を軍力人筆水師、幸山萬 87

甲子年三月

三月十六日

三月十六日

種	質	種	質

晴  
風

午後吉祥堂打吉祥寺、赴テ今如屋内ニテ  
 社若口天婦及林伯爵、面合紅梅き下テ贈呈  
 移植ス

奈良道に歸ひしなす事、習 夢人

80 (一三六) ち成約條命運露英 (八三拾明) 傾古嶺巖 (三化文) ち生新田田橋

種	要	係	預

午前十時 倉庫室  
役会

晴

風

十一時四十五分 社直と倉庫室役会、列席  
席番船下、横濱荷役請負期限の十年ト  
スルコト議決ス  
宝塚訪債日及会弁方短答、カレノ交信  
ヲ以テ差当リ金三杯万圓ヲ以テ其ノ向四五  
十日、工場、林俸ヲ調査スルコト、社費、集  
村丹堅限定ス

取工は村を隔てて取上げがけの所名

種	要	係	預

午後二時 倉庫室  
役会

晴

風

十二時十分 社保除会社重役会、列席、火保震  
災救助財成金下付、開示之款変更、件ヲ候  
了ス  
一時製錢重役会精算、銭山柱堀川友、廿八  
日製錢冬下、契約案ヲ議了ス  
横濱土上会社新井領一分代未坊

脚は以て身を修め、脚上以て徳を養ふ













三月十一日

三月十一日

三月十一日

姓名	年齢	性別	職業	住所	備考
子前十一時若松					
...	...	...	...	...	...

子前十一時若松  
 巻末合

印

年賀上達や三月過ぎにけり

(七拾明) 定制開張送付郵便郵 (六九五一) 生トルカード著標

95

三月十三日

三月十三日

三月十三日

姓名	年齢	性別	職業	住所	備考
...	...	...	...	...	...

印

假名遣ひ書者と石屋の門遣ひ

(一一正大)(人六十百利没票) 決判件事懸疑市京東 (三一拾明) 明養執田村

94

日	月	日	日
一	二	三	四
五	六	七	八
九	十	十一	十二
十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十
二十一	二十二	二十三	二十四
二十五	二十六	二十七	二十八
二十九	三十	三十一	

三友保陰塔会  
十一日

1936(丙)



**清** 明 五日 前二時四分  
土 用 十七日 後四時一分  
穀 雨 二十日 後五時九分

●新月 四日 上弦 十二日  
●満月 十九日 下弦 廿六日

卵 浮かれ、かかれて歸りの道は  
出に濡れた花吹雪  
卵に濡れた花吹雪  
卵に濡れた花吹雪

心 花きはかしまや春風  
あまひそ〜ふる春雨の  
傘のなかな二人づれ

**霞む野** 山々をめぐりて霞は紫に、あたり、空は細りたらむやうの花曇りなが  
ら、いづこともなく輝き充ちたる光あたるかたにして、明るさまよこに限りなし、櫻、  
菜の花、蓬華草、すみれ、たんぽぽ、とりどり咲き、その色もあやうの野のけしき  
りな匂ひて、花より花にうかれ飛ぶ蝶の翅に微風は軽く、林に遊ぶ小鳥の聲も耳に益  
しからず、その羽色もうるほひて艶かなり。

一日 各學校學年始  
三日 神武天皇祭、八專(十四日)  
六日 泉岳寺義土祭(二十日)、潮干狩盛地と  
しては東京芝居大森海濱博覧會(二十日)  
八日 准佛會(東京芝居大森海濱博覧會)  
十二日 吉野花會式、昭憲皇太后祭、庚申  
十五日 聖徳太子祭、銃獵停止、甲子  
十八日 東照宮大祭上野、芝居公園  
下旬 五月八日形市(長道より日本橋軒前町に立つ)  
二十日 己巳  
廿二日 孔子祭  
廿九日 靖國神社祭(十九日より三日間)  
○月初の煙を巻く○國兵検査おまる○日本米より西  
遊來の表紙にては夏物を賣出す○春季清潔法  
施行日光浴  
四月(動物や植物を愛しませう)  
標四月(動物や植物を愛しませう)

**季 寄** 時金、百千鳥、春の田、ゆく黄、産風日註  
まの雲、花吹雪、夏陽(花舞、櫻、春陽、産風、  
九輪草、山吹、矢車草、蓬華草、藍草、ヒヤシンス。  
倉島、櫻えび、櫻餅、餅、さきはら、あなご、いか、三  
ツ葉、櫻尾菜、苧布、赤杉竹、菜園豆。

**外 興** 野仁山(春の美を盡して四月は来りぬ、花は  
東京上野、飛田、小倉井、池川、多摩川、土和の  
吉野、京都嵐山など諸國の名所多く、又雲の花柳草、  
蓬華草など、到る處の田圃に咲き白ふ、運動會、博覧  
會、遊園の遊びも面白く、又日比谷の花祭、泉岳寺の儀  
士祭など大いに賑ふ、此月大阪には産婦入り、京都に  
は春踊りの興あり、東都にては吉原の夜櫻最も香高  
く、櫻に添ふるに山吹、阿なごを以てし、黄粉より雪  
灯を點す、春夜無比の美觀なり。

**内 趣** 小倉園遊、盛陽會、花見に人を招く、園遊  
會、舞臺會、玉染、菫花生、除菓菊等の種類、楊梅、  
不撞花、木蓮、柑橘類の移植、除菓、蕪母、芹、料理  
菊の根分、花壇及び鉢物の飾り。

編輯者 佐々木清也





以下未記入省略

種	葉	種	葉	種	葉	種	葉

晴

正剛大伴保家堂

朝八時三十分和田堂治去漬骨ヲ御呈申上  
 午後送スル由未詳

種	葉	種	葉	種	葉	種	葉

晴

整宿百株申上

(Blank lined area for text)

四月十七日 土木用 丙寅

甲子四月三日

積	資	積	積	積 資 積 積

(一五正大)印廣橋線而通鋼路 (四治明)予計を馬嶽上路の民平 (二和元)予義康家川徳 113

四月十六日 土木用 乙丑

積	資	積	積	積 資 積 積

(二二治明) 逢全道線建帯東 (〇一長要) ちなと軍將大夷征忠秀川徳 112

田舎  
田舎

知知知知知知  
中中中中中中  
中中中中中中  
知知知知知知

四月十九日 月三日子甲  
辰 戌 分一十時一十後 日六十月十

位	段	位	段	備註	録	取 引

(一一正大)す出掘へ那支を付録付還命海城國英 (〇一九一)遊遊踏日近の近殿畢麗一レハ 115

英は額を神倉金とす其額取録

四月十八日 月三日子甲  
日五十月十 辰 戌

位	段	位	段	備註	録	取 引

(一二治明)布公制村町市 (五嘉延)む額を集今古之實記 114

七尺去りて師の影を踏まや堀石に水



以下未記入省略

水 壬  
中

日三十二月四

月三日子甲  
日七

種	質	種	質	種	質	種	質	種	質	種	質	種	質
<p>立身が居るを便ふ。狂言の功名</p> <p>工内平下 猪 午</p>													

(五致安)と名と先大御直伊井 (二女寛)す然を死向 (四六五一)る生翁沙 119

月三日子甲  
日九

日二十二月四

火 辛  
未

種	質	種	質	種	質	種	質	種	質	種	質	種	質
<p>立身が居るを便ふ。狂言の功名</p>													

118 (三物明)す然をところす賞取に私を本朝 (九頼貞)むしら計を活下の偶者



甲子 四

四十二日

甲子月三

日	時	分	鐘	刻	分	秒	分	秒

事類を巧に録むるは手は違げたるなり

甲子月三 日三十三

四十二日

乙未 下七 今八十二時一後

日	時	分	鐘	刻	分	秒	分	秒

愚者は驚き智者は問ふ能もほろろ

陽大 戌

四 月 二十 九 日

甲子四月三日  
二十 六 日

借	貸	借	貸
		一町 新業堂代合帳	
陽大 借 帳 帳 簿			
右に出る者なし左替五町			

(元永電) 才 殿 重 勝 倉 也 (三元電) 才 次 氏 持 利 足

甲子四月三日  
二月 十 五 日

四 月 二 十 八 日

陽月 十

借帳簿

借	貸	借	貸
		一町 新業堂代合帳	
陽大 借 帳 帳 簿			
右に出る者なし左替五町			

(一一正大) 放 領 市 八 東 田 部 支 (六一同) 業 陽 行 載 本 日 (九計明) く 醫 府 郡 宜





以下未記入省略



信	安	信	領	子月五斗 定役会	領 役 署
領 役 署 印					

印  
信  
領

信	安	信	領	子月五斗 定役会	領 役 署
領 役 署 印					

印  
信  
領





以下未記入省略

庚午

六月十四日

甲子四月五日

領		帳		備考
領	帳	領	帳	
西人の算帳 (入金)				<p>注意</p> <p>領金や領帳なれど取立帳は差引におは す算帳の類く</p> <p>品字</p>

金

六月三十日

甲子四月五日

領		帳		備考
領	帳	領	帳	
西人の算帳 (入金)				<p>注意</p> <p>領金や領帳なれど取立帳は差引におは す算帳の類く</p> <p>品字</p>

限月 六  
宗 六

日 六 十 月 六

月 五 四 子 甲  
日 五

信 類		信 類		信 類		日 記	備 考

[印]

[印]

(四〇九一) く 遊ノホエチ家説小遊暮 (五二市羽) 遊開の便貯包小

175

[印]

月 五 四 子 甲  
日 四 十

日 五 十 月 六

限月 乙  
五 乙

信 類		信 類		信 類		日 記	備 考

[印]

[印]

夫れ博~聞く茂林寺の文相宗室の北山來任しく  
たはふ直白に言はる其言一語尾の原の種葉影のび  
たの葉の影のび

174 (一一正次) 會開議會ターへの心中顧問對 (〇〇八一) 予移にトシワを府私議本











〔開木〕  
字 四

日六十二月六

甲子月五  
二 五 四

種	領	種	種		種	領	種	種

名作  
所出  
合

御  
所

御所は此の如き上なる玉の重けを承り見れども  
子明

(一正大) 去御王親仁依官見伏東 (三三六) 元紀の御所説 185

甲子月五  
二 五 四

日五十二月六

西地  
〔開木〕  
字 七

種	領	種	種		種	領	種	種

正千か  
夜由  
因久  
恥行  
彦山合説

御  
所

金持は御門等 敬る 田舎者の御所説

186 (一正大) 陽宣賦閣の官文秩式年賦閣宮深 (二出明) る作を新士し定改を識葉事御



六月 庚辰

六月十三日

甲子年四月五日

Table with columns for names and dates, containing handwritten entries and faint vertical text.

Vertical text on the right side of the page.

長江欄の表、本欄には未詳し

(一一一)大) 朝歸妻大州雷川甲慶排 (西安立) 殿覆軍元 (元元延) 死歌年長和名 139

甲子年四月五日

六月二十九日

丙午年五月十八日

Table with columns for names and dates, containing handwritten entries and faint vertical text.

Vertical text on the right side of the page.

昭和九年五月十八日

138 (二拾明) 才立部を社政招に上段九 (五一八一) つ金を亡逃へ國米電一オレキナ



Table with columns for date and various entries, including a vertical note on the right side.

抄紙今日なき藤や国夕日 泊雲

Table with columns for date and various entries, including a vertical note on the left side.

實梅もぐ樹上の間に雲霧かな 土雲

甲子年四月廿四日 巳

格		位		階		職	
姓	名	姓	名	姓	名	姓	名

(一一正大) 表公理登海軍省軍高 (五治明) づ出令止好行發誌禮開新 (〇一化文) 榎手君生滿 195

大巧は細なる如し。負けるが勝

甲子年四月廿七日 申

格		位		階		職	
姓	名	姓	名	姓	名	姓	名

花月子廿六時  
馬説  
香江  
因

夜更  
早名

(一一正大) づ出令止原休養岩官 (〇九七一) 才死スミス、ムダア表帳領範英 (六七七一) 立興編米 194

光には必や並あり。密ても調





水  
己  
丑

日 九 月 七

日 六 日 子 甲  
日 八

種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl;">種 別</div> <div style="writing-mode: vertical-rl;">種 類</div> </div>																	

(四治明) 諸部省法司 (四政安) 才卒一已保境 (八選明) 建再寺基凌 199

貫 放 ぐ や 何 日 大 主 の 宗 の 跡 青 風

火  
己  
子

日 八 月 七

日 六 日 子 甲  
日 七

種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類	種 別	種 類
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl;">種 別</div> <div style="writing-mode: vertical-rl;">種 類</div> </div>																	

198 (二一同) 與 撰 撰 士 繼 て る 始 (七治明) 才と民平を著の家分族士撰 (五政安) く 體 を 行 奉 國 外

ひ な 國 を 聖 が 原 ま く 即 參 詣

全 50

日 一 十 月 七

同 大 曆 十 甲

種 類	品 名	備 考
		西 宮 東 山
<p style="color: red;">東山 西宮 の 内</p>		

印 小 記 帳

印 小 記 帳

印 小 記 帳

印 小 記 帳

同 大 曆 十 九

日 十 月 七

張 上 3  
分 六 十 四 時 六 分

西 本 氏

種 類	品 名	備 考
		西 宮 東 山

日曜日  
日 天

日 三 十 月 七

月 六 閏 子 甲  
日 二 十

日	時	候	風	雲	雨	雪	霜	露	霧	霞	電	雷	虹	彗	星	月	日

(五化文) 曇出へ松原 藍林 文同 (〇七八一) る超卓 叔傳 普 (三老茂) く頁を便所 按てめ切 207

四十九日

深瀬は法法に証す・分由應に証が受く

曜 日  
日 天

日 二 十 月 七

月 六 閏 子 甲  
日 一 十

日	時	候	風	雲	雨	雪	霜	露	霧	霞	電	雷	虹	彗	星	月	日

208 (一一正大) 布公日御行論法砂 漢家地借 (三久健) るなと 軍將大夷征 華 顯 照

四十九日

君は世な成とも志難行、その編を移し編たみよのす  
かゝるなるおろかき事を、その編を移し編たみよのす

目 夫



興木  
四十一

日七十月七

月六国手甲  
日六六

備 考		備 考		備 考		部 記	備 考

①

②

款の部を八つづき・終の下の力貸

月六国手甲 日六十月七 月満○ 雁水  
分九十四時八俵 印 四

備 考		備 考		備 考		部 記	備 考

入王の供は大方なり上り

種 別	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考

(九九八一) ろ 移 申 取 西 米 (六 毛 差) く 希 を 認 の 器 備 光 備 209

高 野 に 関 いて 小 さ し 月 見 草 記 録 下

種 別	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考

高 野 山 庄 移 住 記 録  
(一九一八)

208 (四 拾 明) 置 設 省 部 文 (三 一 保 安) 才 殿 各 目 草 前

紙 圖 會 や 紙 高 々 類 A で 比 較 の 時 野 見 草

種	契	積	積	種
				晴
				記
六物 (赤紙) 各領主吉未二訪以日名方ヨリ相談ノ内從 社領川邊ノ一ハ一度分トノ一ハ三百五拾万 川ノ支ラレタシト申上合共ニ本港セリ由ニ 上ノ末宗海上ノ合却實人ノハニ未港致シ誰 キニ(東宗海上ノ合却實人ノハニ未港致シ誰 東ノ支既下ノ置リノ先提ノ許ニ三葉山ノ統制 ヲ東宗海上ノ合却實人ノハニ未港致シ誰 洋田ノ午候ハ秋冷ノ節ノ儀ハ可リ合 セリ下五白之ヲ社領ノ數トス 此件ハ可リ合却實人ノハニ未港致シ誰 ノ相立申アハカシ				

(五長屋) 役發討征津會康家 (元仁建) 寺安曼文備

種	契	積	積	種
				晴
				記
六物 (赤紙) 各領主吉未二訪以日名方ヨリ相談ノ内從 社領川邊ノ一ハ一度分トノ一ハ三百五拾万 川ノ支ラレタシト申上合共ニ本港セリ由ニ 上ノ末宗海上ノ合却實人ノハニ未港致シ誰 キニ(東宗海上ノ合却實人ノハニ未港致シ誰 東ノ支既下ノ置リノ先提ノ許ニ三葉山ノ統制 ヲ東宗海上ノ合却實人ノハニ未港致シ誰 洋田ノ午候ハ秋冷ノ節ノ儀ハ可リ合 セリ下五白之ヲ社領ノ數トス 此件ハ可リ合却實人ノハニ未港致シ誰 ノ相立申アハカシ				

(六一開) 去龍硯具倉岩 (三一治明) 爾職を位一正に公攝 (五政安) 寺納輝を影録高道と高英

まづ廻り後に備む・青葉に備

沈黙は鄙人の罪徳なり・寸書尺宛



格	契	格	契	備
				主納 記
				去納 記

(元永寛)も生節性園 (一長園)も城城戸江 213

格	契	格	契	備
				主納 記
				去納 記

212 (一一正大)眼永てに青細土博峰高 (元治元)らちせ所臣議野平 (二仁健)らなと軍將大真征家頼源



明治二十七年丁未

七月二十二日

西曆一千九百零年

月	日	時	分	秒
七	廿二	晴		

晴

寺ノ天ト接午後吉祥寺寺吉祥寺寺

(元治明)位位即御皇天治明(四一保天)宇祭を遊歴長の人町府幕

西曆一千九百零年

七月二十一日

明治二十七年

月	日	時	分	秒
七	廿一	晴		

晴

多分午後

出物

夏田の野原法身に似たるかな

(九治明)檢問道嗣の厚蔵次(八一明文)るき穀判藩道田太

日	時	刻	辰	分	秒	寸	分	秒	寸	分	秒	寸	分	秒	寸	分	秒

晴  
午後  
午後  
午後

中物

日	時	刻	辰	分	秒	寸	分	秒	寸	分	秒	寸	分	秒	寸	分	秒

晴  
夜

中物  
青祥半諸托死八金十半百因予奉野  
深ス

大甲の雲の雲巴や成初基心月

本帳

日一十三月七

日六十月三

種	目	額	備考
			精

巻  
石  
意  
取  
巻  
紙  
公

種	目	額	備考
			新
			夜九時半正片共大台道停系
			は朝上野精養行、之より山国美術展覧
			会、優等正泰慶展覧、此にて
			冊ト下ノ額面(正等田三割リ)ヲ贈フ

(元正) 布公法稅得所正改 (元正大) ららせは行を式見朝皇天上午

本帳

日九十月三

日六十月三

種	目	額	備考
			精

種	目	額	備考
			新
			明治天皇御祭日
			午後毒美ト共、吉祥寺、参り

由上野上金の部をみじりてせらるる事  
計費帳を生じれば所又帳を生ず

(五四治明) 桐原皇天治明 (二島文) 予死、新人名歌遺

Table with weather and date information. Includes '晴' (Clear) and '八月二十日'.

Handwritten notes in red ink: 秋分 八月二十日 立秋 八月十八日 秋分 八月二十日

Main vertical text in Japanese calligraphy, likely a diary or journal entry.



立 秋 八月 前五時一三分
處 暑 廿三日 後七時四分
月相
●新月 一日 上弦 八日
●滿月 十五日 下弦 廿二日
●新月 三十日

一日 八朝...
四日 北野天滿宮祭(山形)
七日 成田祇園會(九月迄)
九日 庚申
十日 西鶴忌・精靈迎(十六夜御霊會)
十一日 王子神社槍祭
十三日 甲子
十六日 大文字火(京都御覽)
十八日 聖の内妙法寺干部會(二十八日馬己巳)
十九日 鎌倉圓覺寺燒干(御覽) 愛宕山燈籠焚き(山形)
廿三日 鎌倉建長寺開山忌(十六夜御覽)
廿六日 二十六夜待合
三十日 日俵併合記念日
○衣服調度書寫の島干(下旬暴風被害の豫防、不潔物の排除に際し内通風の注意を要す)
八月にお互にはやり病ひにかゝらぬ様

海ノ夏
そこそこ散らばれる岩、海をつまむと鳥と、水成岩のたゞすまひ元氣よく打ちつけたる、浪の足はよろほびながら岩々をめぐり抱いて、サツと頬を吹か風よくオウソンの匂ひ、紺青に静まれる入江の水、紫紺濃くなる海の水に、烈日は照り透れて煙れり。波靜かなるところ赤き小旗の高く舞りて、美しき海水着の人々そこにつどひて波と飛べる、放たれしよるこびを見るべし。

季 寄 晴(秋) 秋葉、初曉、花火、鈴鹿、松島、花野、秋の野、秋の空、秋の霞、下り船、秋の歌、秋風、秋霞、秋の月、秋の雨、女部花、紅葉、月夜草、夏菊、野菊、萩、美女櫻、山姥花、松島草、百日草、朝顔、高島舞、菖蒲船、鳥居、鯛、鯛、番付舞、扇舞、若獅子、甘藷、柿、瓜、刀笠、南瓜、冬瓜、菓餅、外 興 蟹の愛用(繁く)思はれ最中なり、川釣りに魚を連ね、納涼會にヨットの波へ、夜店に女裝をあきる等(り)面白く、早明の朝陽、城地の龍化又捨て難く意味あり。學生間には花形に相集あなし或は鴨野(昆蟲捕獲を試むる)興多かるべし各地に地蔵尊の祭壇あり、又東京王子神社の地蔵願ふ。其他蒲葵、蓮花の観望、日光、松島等の遊樂旅行に此月山越んに行はる。内 題 福合(水遊び、書藝、團扇、將棋、登山、盆風など)を序り遊々、徒、愛宕草の草木、四季咲草類、花類、その他花吉類の手入。秋紅葉に及ぶ。松島、大木類の掃き。

中取り元の女性の體になり

日		三		月		八		月 七 日 子 丑	
時	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
<p>相立時四十分、小田奉行一番、浪車、子箱、辰、子、          小田奉行、自、高、平、上、師、大、下、十、飛、矢、          辰、子、十、時、前、後、羅、入、八、毒、美、し、          辰、子、十、時、前、後、羅、入、八、毒、美、し、          辰、子、十、時、前、後、羅、入、八、毒、美、し、</p>									

少将は諸家を度々名人は既往を遣ひ

日		二		月		八		月 七 日 子 丑	
時	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
<p>十一時、物、初、辰、辰、          典、夫、子、伴、ハ、バ、々、不、停、車、場、側、ノ、一、中、校、及、川、田、          正、敏、氏、子、坊、ハ、典、夫、村、谷、ノ、幸、ヲ、依、頼、シ、          辰、子、十、時、前、後、羅、入、八、毒、美、し、          辰、子、十、時、前、後、羅、入、八、毒、美、し、          辰、子、十、時、前、後、羅、入、八、毒、美、し、          辰、子、十、時、前、後、羅、入、八、毒、美、し、</p>									

賊類の酒風やめたる殿の万歳

日 記		備 考	
<p>壁塗リ仕上ケ貴(研野田)新築、惣百七拾坪          先、全五石園ヲ築也トモ夜ス          午後身下下山宮城野橋ヨリ自前年ノ架ル          三時半分小田奈奈、阿合フ六時三十分東島          澤と有寿、美、ふし、合箱、          五日朝十時、雨、近、雨、時、た、元、降、在、夜          分、雨、降、ル。</p>			

日 記		備 考	
<p>午前、大、初、祭、化、子、伴、に、舞、美、ト、共、大、来、ヲ          更、分、ス、十、二、時、迄、停、在、一、時、半、頃、ヨリ、終、雨          可、ル          雨、長、雨、中、又、ハ、土、田、ノ、子、ノ、ヲ、終、舞、ス          夜、分、迄、舞、式、ヲ、終、了、其、終、哉</p>			

秋 産 じ 二 つ 留 小 し 受 院 留 部 留 州







年月  
成生

日一十月八

月七閏一  
日一十

姓		名		備考
姓	名	姓	名	
				備註欄 No.233

(九一拾明) 足利郡閑人護公法記堂 (二安弘) る新に多博を書使の元 233

備註欄  
No.233

年月日  
酉辛

月七閏平甲  
日一十

日一十月八

姓		名		備考
姓	名	姓	名	
				備註欄 No.234

(三永福) 寺火吸山羅河 (不識元) 寺親田 西原井 234

備註欄  
No.234



以下未記入省略

姓	名	籍	職

氏名  
住所

手付有田秀造氏と新巻主ノ松本  
カノ倉、共ニ三月十日支取

前ニ照像後に照像・少る可也

姓	名	籍	職

氏名  
住所

手付

前ニ照像後に照像・少る可也

											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴

晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴

晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴

											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴
											晴

晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴

晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴  
晴

癸酉

九月十七日

十一月八日

姓名	大前 文丸
籍貫	海老名
職名	

大前 文丸 (海老名) 出陣あり

出陣あり

(七二出陣) 海老名 大前 文丸 (五年輩) 守殿に就任直前安

271

癸酉

九月十六日

十一月八日

姓名	大前 文丸
籍貫	海老名
職名	

大前 文丸 (海老名) 出陣あり

水もなく 富士は雪の形也

(九正大) 直念所宛研究祭 (二和天) 守殿直前安

270



〔種本〕  
五二

日九十月九

月八日子甲  
四一十二

種	家	種	類	備註
				註 記

(五三脚) 〔種親子同正 (三治明) 子鮮をも子類を雌に民平 273

種本  
五二

脚註に石丸く水書並めり  
千谷

〔種本〕  
五二

日八十月九

月八日子甲  
四一十二

種	家	種	類	備註
				註 記

272 (一一正六) 止演會前調り外 (三銀和) 子類を雌 (二: 四角死肥) 窮勇スミラサ

天は正理を保護す・富い上の計

九月二十一日 九月二十一日 九月二十一日

Table with multiple columns and rows, mostly blank, with some faint markings.

縦書きの文字

縦書きの文字

(二九七一) 寺の石を製和共置飾 (五枝堂) ららへ補成三田石 275

九月二十一日 九月二十一日 九月二十一日

Table with multiple columns and rows, mostly blank, with some faint markings.

物川用基合

縦書きの文字

縦書きの文字

274 (九正大) 遷公の初景長徳大帝 (五永壽) 誕生御皇天祐明 (六壽延) (平を監督の山貞錦

西曆一千八百九十三年十二月三十一日 西曆一千八百九十三年十二月三十一日

領	支	積	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入

印

印

(五拾明) 下標を賞與の景架嶺嶽に私 (三保大) 下藤山山嶽 (六四八一) 見發皇王海人御 277

西曆一千八百九十三年十二月二十二日 西曆一千八百九十三年十二月二十二日

領	支	積	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入

印

印

(三附) も成續計瓦てけに後撰 (元拾明) 被 務 律 會 276







以下未記入省略





第六

四月

第九回

記	録	記	録	記	録

第一正次 予議決を兵部制部議録 (七七八一) る生一ソギ家史野通海  
 237

此の表は  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく

第六

三月

第九回

記	録	記	録	記	録

第一正次 職會歌休東延 (九拾明) 予生伴事島備江 (元島米) 予院領子島津大

予  
 予  
 予  
 予

此の表は  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく  
 けいさく



壬子月九 十月八日 水

Table with vertical lines and header labels (e.g., 姓名, 地位). The table is mostly empty.

御水

姓名は西暦より、世帯も表へ上る

(一ニ同) るき私后皇民朝 (四治明) 予意然に米部を臣大右舍着 293

大 日七十月 九 壬子月九

Table with vertical lines and header labels. Includes handwritten red text: 阿久根山ノ...

御水

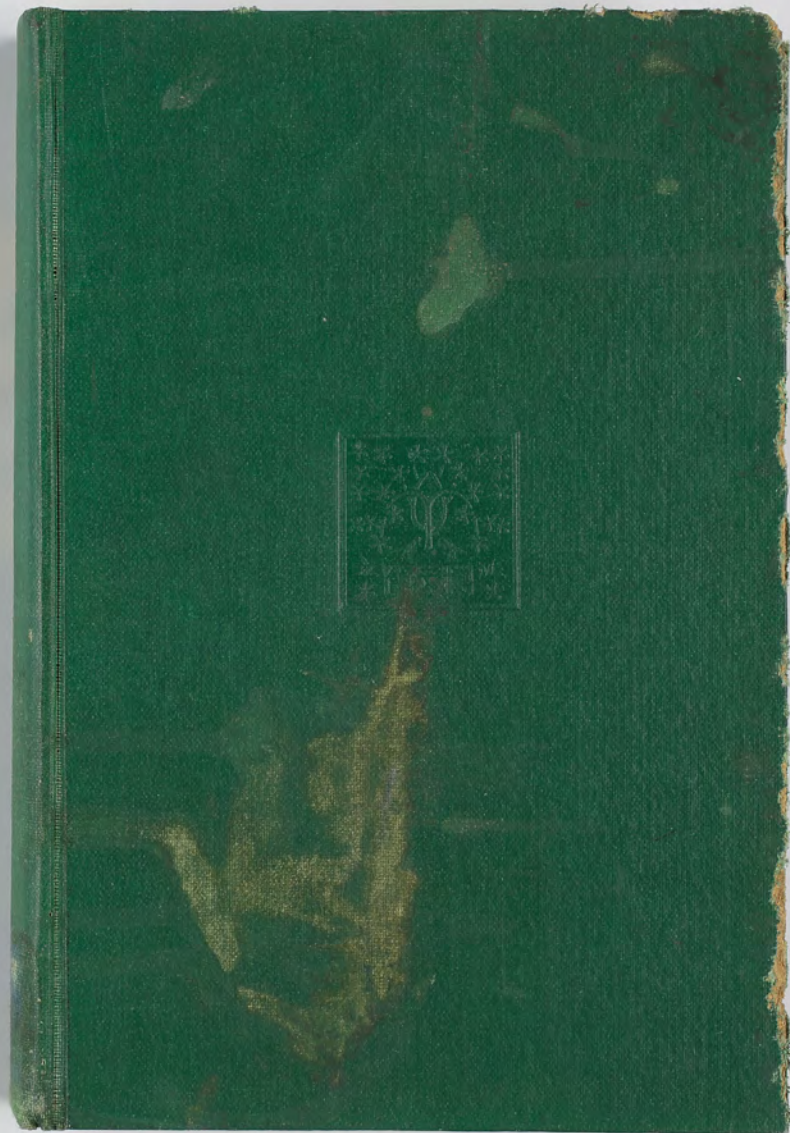
姓名は西暦より、世帯も表へ上る

(一正大) 布公金勤監手工恩備解職軍 (〇七八一) 出脱里巴タツペンカ (二賢短) 予意然孫野致





以下未記入省略



© 2025 高知市立自由民権記念館  
本画像の無断転載・複製を禁じます。